

スマホ・ネット安全教室を行いました

郡上人権擁護委員協議会

スマホ・ネット安全教室を令和6年7月5日（金）郡上市立明宝中学校で行いました。今年度で7回目を迎えることになりました。

NTTドコモの「あんしんインストラクター」の方を講師として、明宝中学校生徒36名と保護者22名を対象に研修を行いました。今年度は、PTAの授業参観を兼ねた教育講演会という形で行いました。熱中症対策のため、オンライン会議システムを使用し、各教室で映像を観るという形式での研修となりました。

- ①情報技術の上手な活用とリスクを考えよう。
- ②使いすぎとSNSの発信についてどのくらいのリスクがあるかを考え工夫やスキルを身につけよう。

上記の項目を中心にワークシートを使ったり、グループで発表したりしてリスクについて考えました。使いすぎについて親子での本音トークの場面もあり、自分の弱さを分析しながらSNSと上手に付き合うための工夫について考えることができました。

また、SNSの発信について自分が映っている動画を周りの人が発信したら、どのように対応するのか考えました。映っている人の許可をとったか、個人情報に記載されていないか、悪ふざけの動画は慎重に扱わなければならないことなどについて学びました。



また、八幡支局の支局長より法務局の仕事について、パワーポイントや資料を使って教えていただき、法務局の仕事が、私たちが生きていく上で色々な場面に関わりがあることを学びました。最後に、人権擁護委員が、SNSで問題が起きたときには、親や先生、周りの大人などに進んで相談をしてほしいことを伝えました。

保護者代表の方からは、スマホの使い方については日頃から悩んでいることなので、今日の研修で話し合ったことを生かしていくとの感想がありました。保護者を交えてのネット教室は、初めてでしたが有意義な時間を過ごすことができました。